

多自然川づくりの設計について

【中学校横の河床低下対策】

【主な内容】

①前回までの内容

②実施設計のポイント

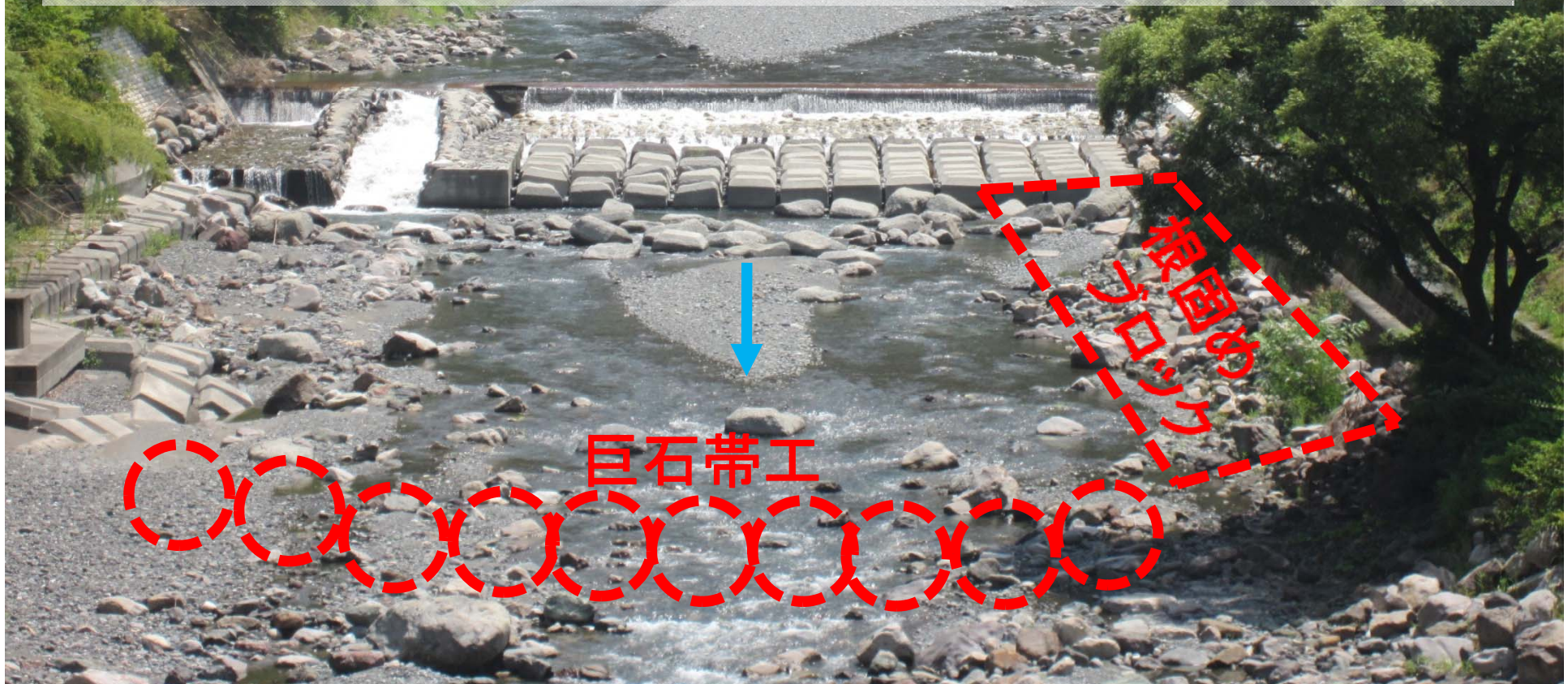
- 1、根固めブロックについて
- 2、巨石帯工について



【①前回までの内容】

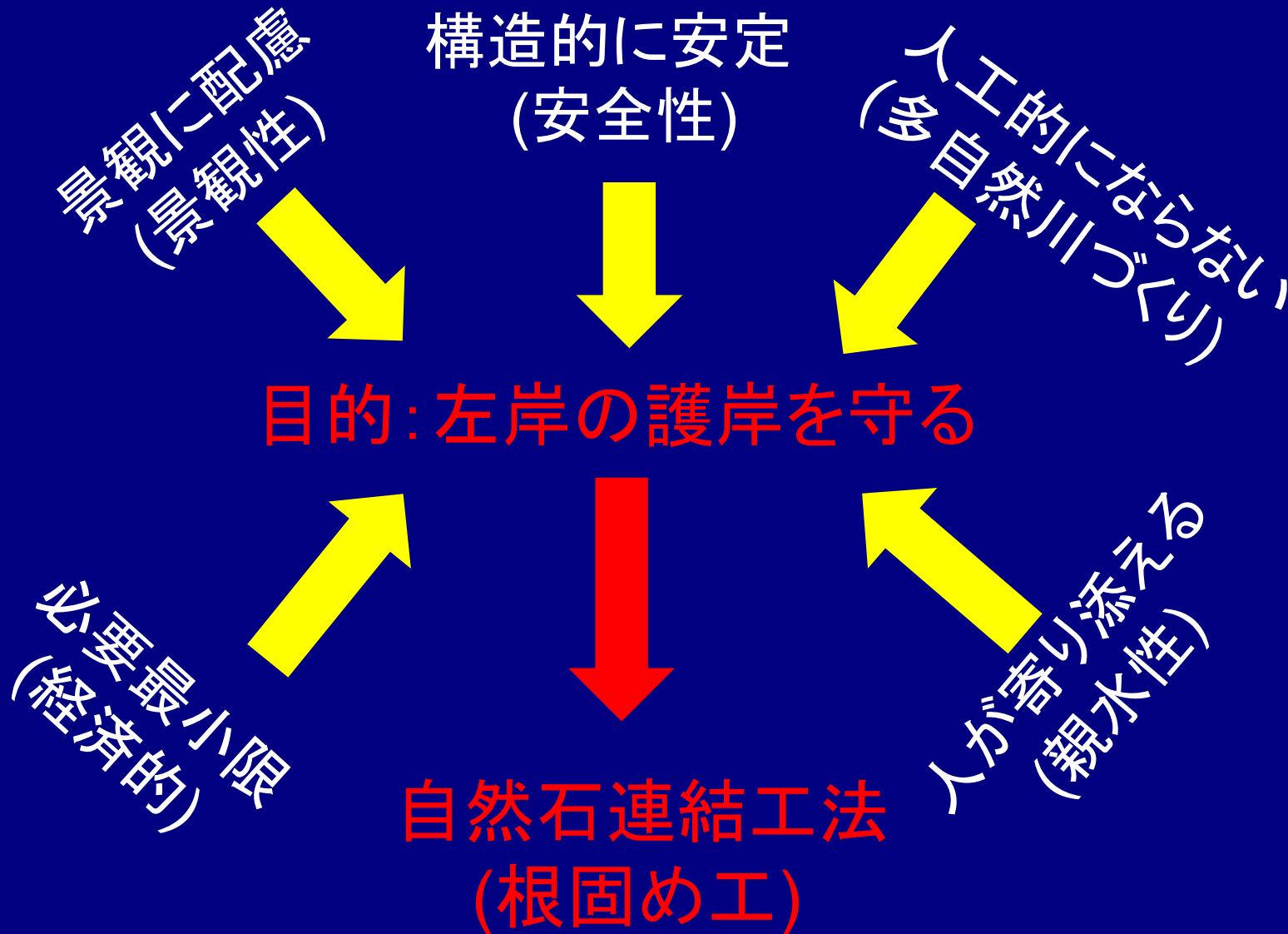
詳細設計(案)

- ・護岸の洗掘防止のための根固めブロックを護岸の前面に設置する。
- ・現況の河床低下を押さえるための巨石帯工を設置



【②実施設計のポイント】

1、根固めブロックについて



【②実施設計のポイント：1、根固めブロックについて】

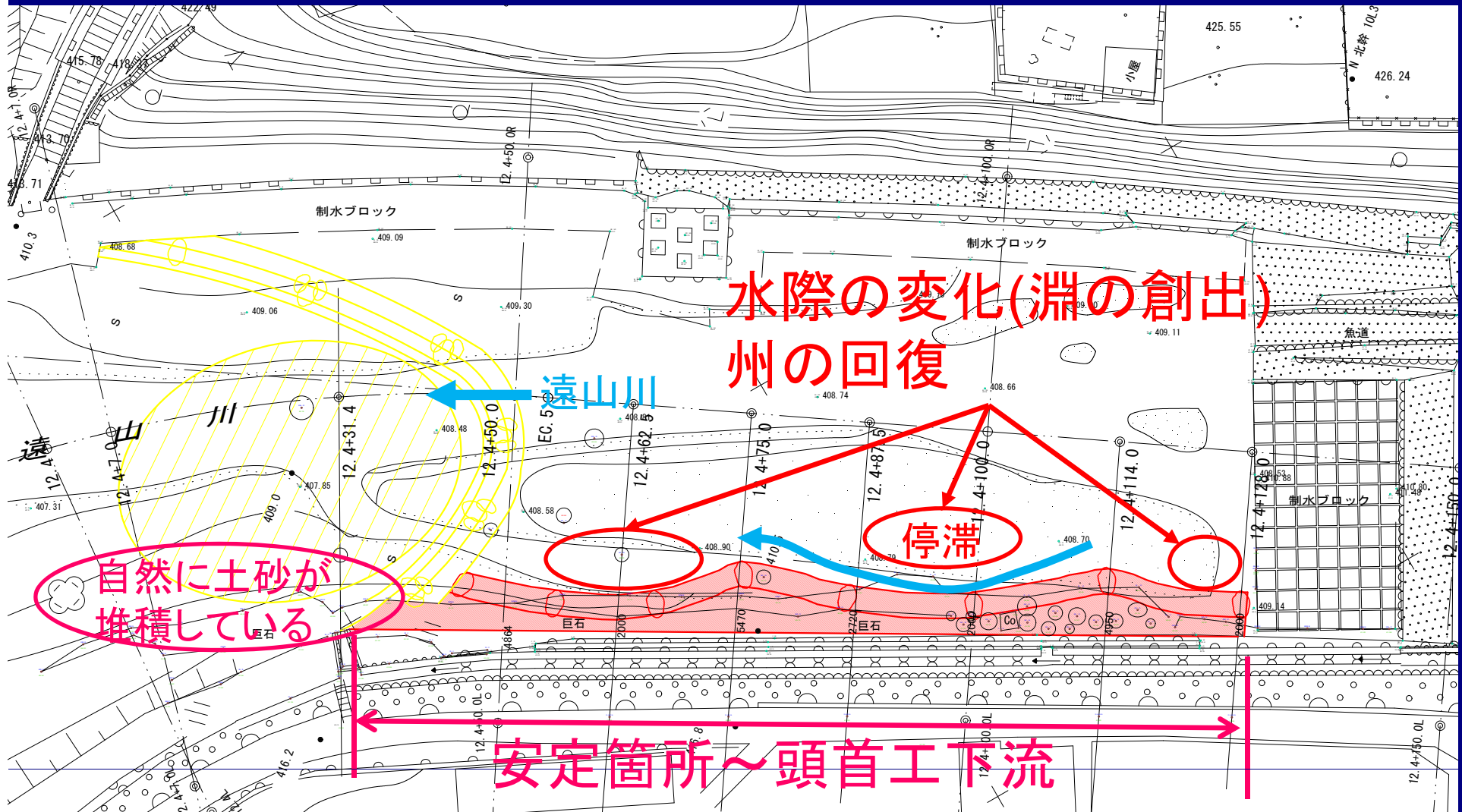
自然石連結工法(根固め工)
施工例(愛知県 阿妻川)



護岸の基礎部浸食(河床洗掘)
を防ぐために設置

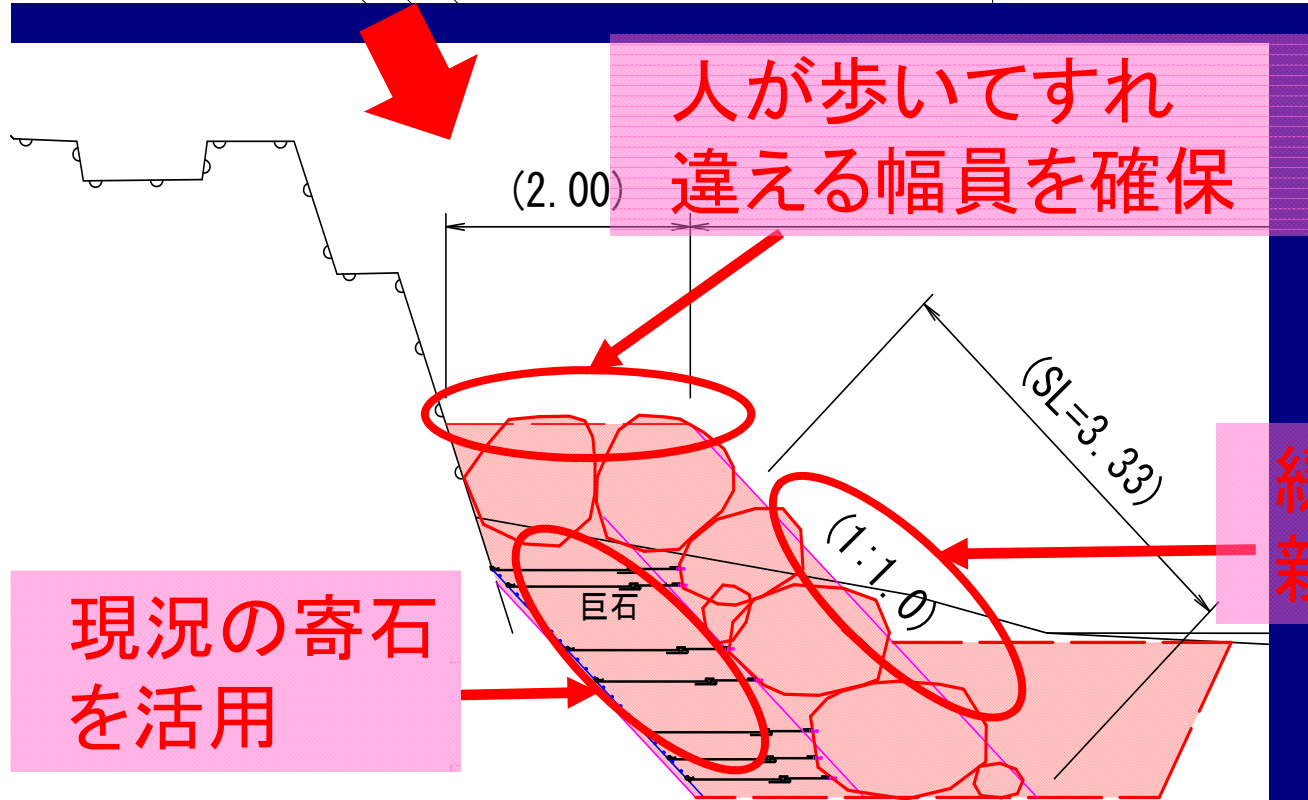
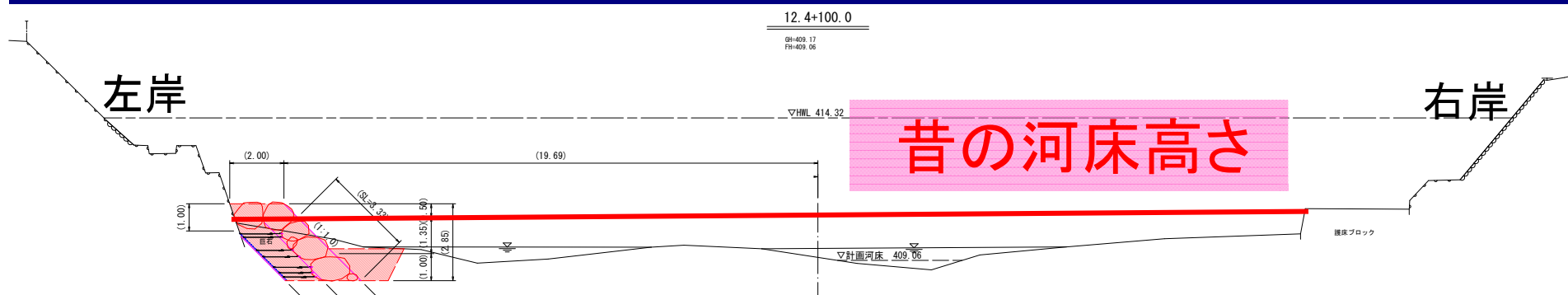
【②実施設計のポイント：1、根固めブロックについて】

平面図



【②実施設計のポイント：1、根固めブロックについて】

横断面図



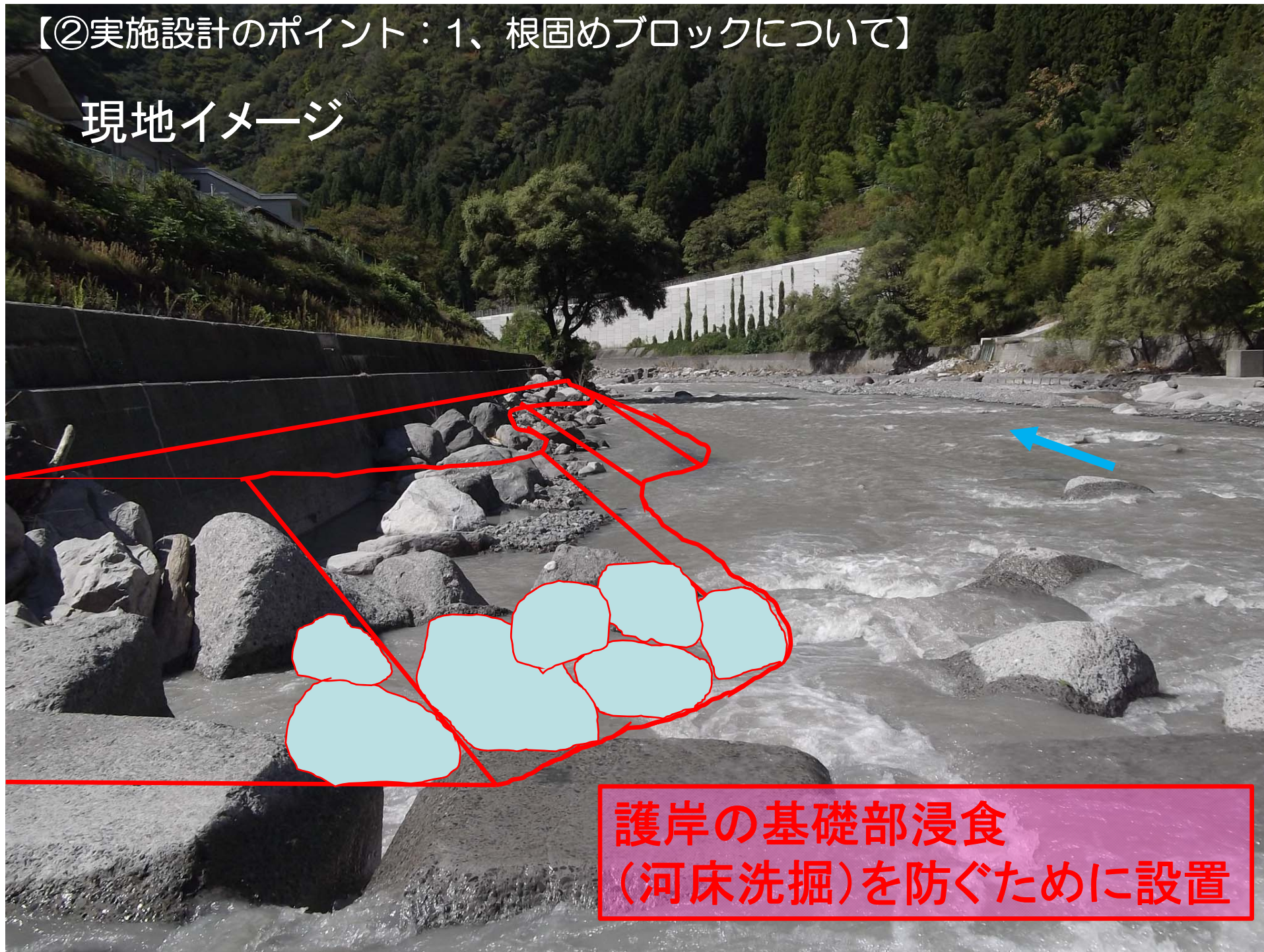
人が歩いてすれ
違える幅員を確保

緩勾配とし
親水性をUP

現況の寄石
を活用

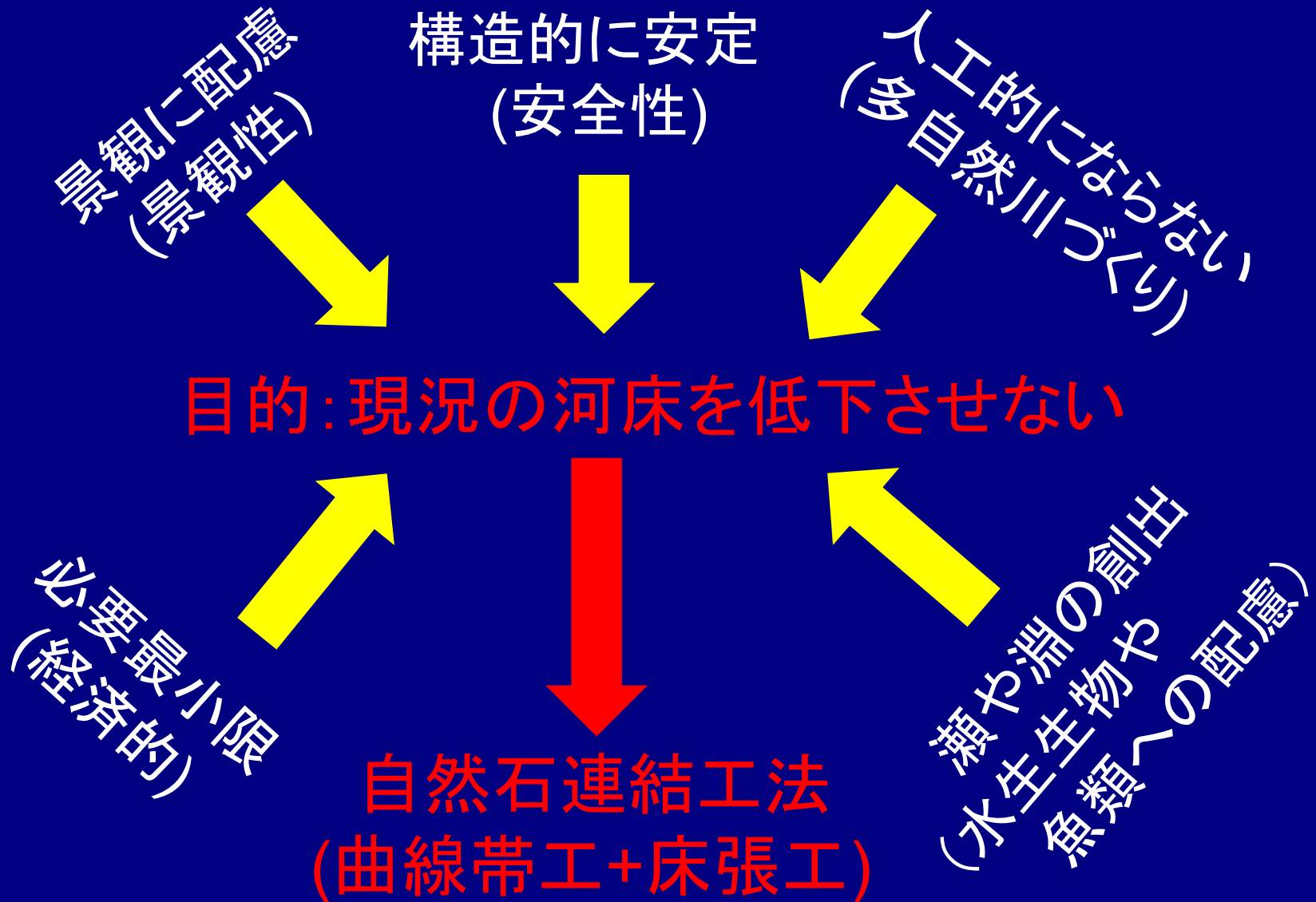
【②実施設計のポイント：1、根固めブロックについて】

現地イメージ



護岸の基礎部浸食
(河床洗掘)を防ぐために設置

2、巨石帯工について



【②実施設計のポイント：2、巨石帯工について】

自然石連結工法(曲線帯工+床張工)
施工例(愛知県 阿妻川)

帯工を設置する事で河床材の動きを留め、
アーチ状にする事で水を集める。
帯工の下流側に淵ができるが、それ以上
に洗掘されない様に床張を設置する。

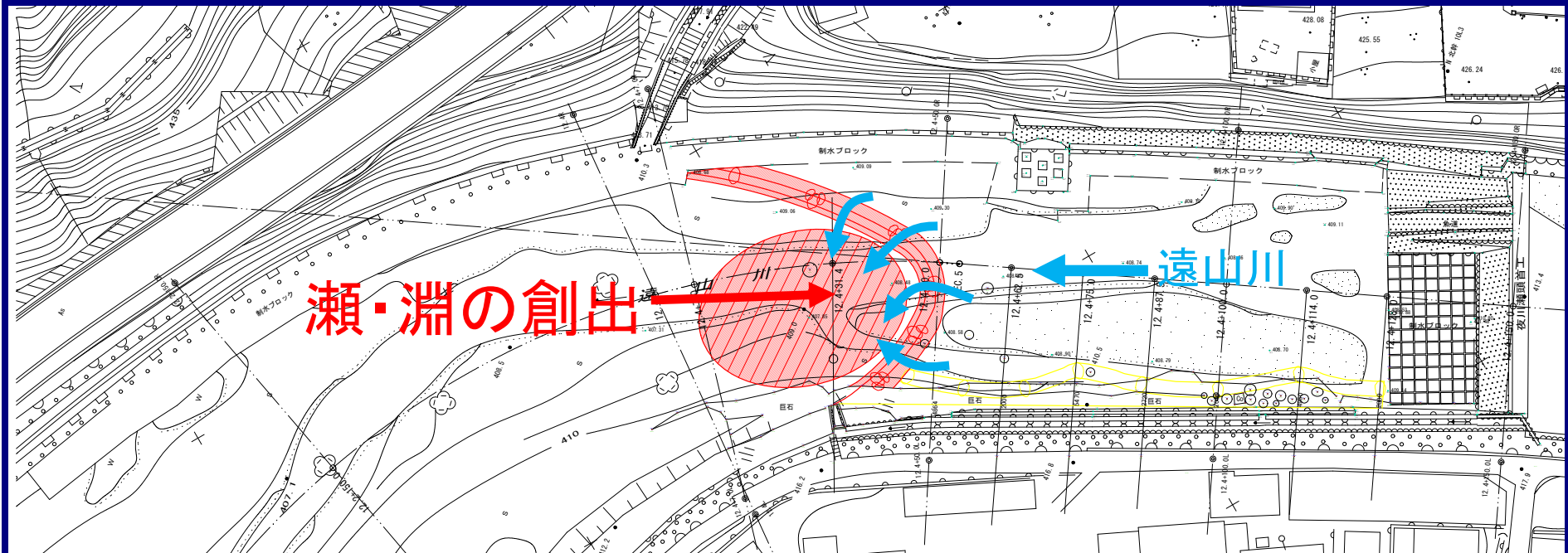
淵 床張工

瀬



【②実施設計のポイント：2、巨石帯工について】

平面図



【②実施設計のポイント：2、巨石帯工について】

なぜ曲線(アーチ状)か？

○天然河床に点在する石



自然の石の安定状態を手本とする



【②実施設計のポイント：2、巨石帯工について】

なぜ曲線(アーチ状)か？

○出水時の水の流れイメージ



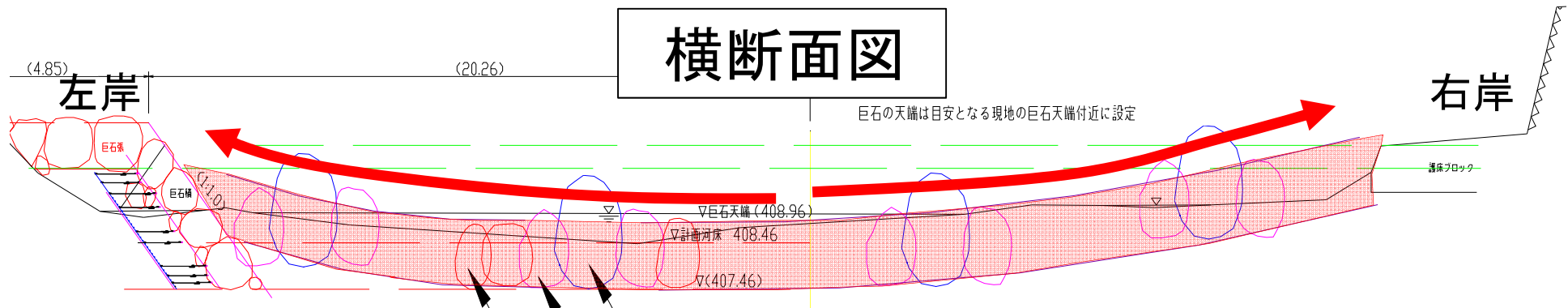
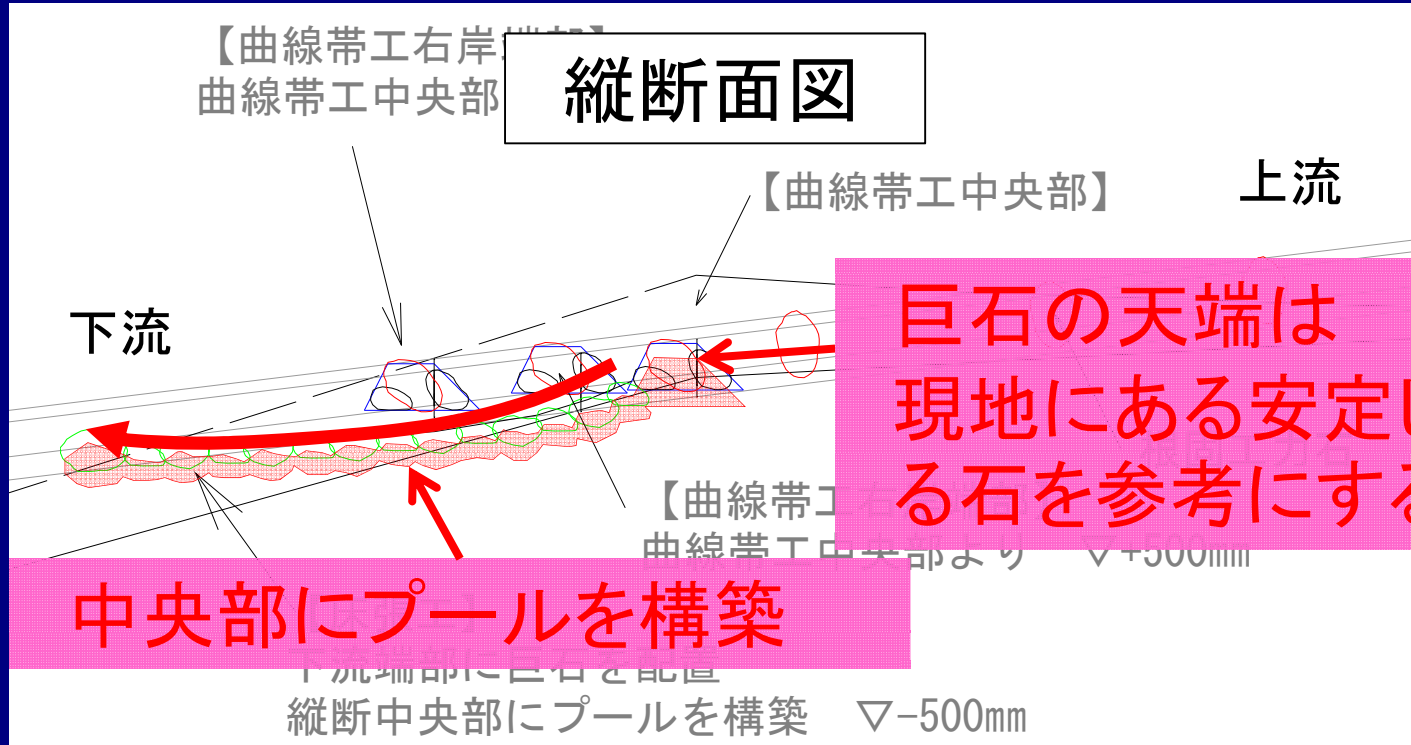
流心を左岸へ誘導
→右岸側(水衝部)
への衝突を和らげる

【②実施設計のポイント：2、巨石帯工について】

設置位置は？



【②実施設計のポイント：2、巨石帯工について】



中心を低く、両側を高く
→ 水を中心へ集め両岸を守る

【②実施設計のポイント】

中学校横完成イメージ図

